

議案第92号

公の施設（宝塚市立文化施設及び宝塚市立宝塚文化創造館（宝塚音楽学校旧校舎））の
指定管理者の指定について

資料1 宝塚市立文化施設及び宝塚市立宝塚文化創造館（宝塚音楽学校旧校舎）指定管理
者候補者の選定について

1 指定管理者候補者

公益財団法人 宝塚市文化財団

代表者 理事長 秋山 文子

所在地 宝塚市栄町2丁目1番1号

2 指定期間

令和6年（2024年）4月1日から令和11年（2029年）3月31日まで

3 候補者選定までの経過

- (1) 第1回選定委員会開催 選定方針、選定基準等を決定

日時：令和5年（2023年）6月2日（金）18:00~19:30

場所：市役所 3-3 会議室

- (2) （公財）宝塚市文化財団へ指定管理者指定申請書の提出を依頼

日時：令和5年（2023年）6月7日（水）

- (3) （公財）宝塚市文化財団より指定管理者指定申請書を受理

日時：令和5年（2023年）6月23日（金）

- (4) 第2回選定委員会開催 プレゼンテーション、ヒアリング、審査及び候補者の決定

日時：令和5年（2023年）7月7日（金）15:10~17:00

場所：市役所 3-3 会議室

4 指定管理者の選定を非公募で行う理由

（公財）宝塚市文化財団は、平成6年（1994年）の設立以来、宝塚市の文化芸術振興の推進母体として、また、これまで5期にわたる指定管理者として、本市における文化振興全般を熟知しており、豊富な芸術文化事業の経験と市内の文化団体との信頼関係を基盤としてベガ・ホール、ソリオホール及び宝塚文化創造館（宝塚音楽学校旧校舎）それぞれの施設の特色を活かした管理運営を行っていることから、宝塚市指定管理者制度運用方針2-(2)-イ「施設の管理に当たり、当該指定管理者の長期継続的な事業運営や人材育成、ノウハウの蓄積等を特に必要とし、指定管理者の変更になじまない場合」に該当するとして非公募で選定を行った。

5 選定委員会における審査

(1) 選定委員会委員

委員長	小石 かつら	関西学院大学文学部	教授
委員	越知 昌賜	関西国際大学国際コミュニケーション学部	非常勤講師
委員	越智 彰		税理士
委員	菊地 知子	宝塚文化財ガイドソサエティ	会長
委員	小原 恵美子		市民公募委員

(2) 選定方法

- ア 選定を行うため、評価項目と配点を設定し、5段階評価の評価基準を設定した。
- イ 委員5名の評価点を合計して750点満点とし、450点(60%)を必要最低点と定めた。
- ウ 申請者の提案内容を確認するため、プレゼンテーション及びヒアリングを実施し、評価項目ごとに評価した。
- エ 必要最低点を上回ったため、指定管理者の候補者としてふさわしいかどうかを意見交換の上、候補者として選定した。

(3) 選定委員会における評価結果

評価点(750点満点) 639点

(4) 選定理由

- ア 当該団体は、これまで宝塚市において多種多様で質の高い芸術文化事業を行ってきており、豊富な実績と経験に基づく安定的、継続的な事業展開を行う能力と意欲が十分に認められる。
- イ 当該団体は、当該施設並びに文化関係団体等様々な文化の担い手を熟知しており、施設管理運営に関して十分な経験があり、今後も各施設の特性を最大限に生かし堅実で安定した運営が見込める。
- ウ 採点結果が750点満点中639点(85.2%)であり、必要最低点である450点(60%)を上回っている。
以上のことから、当該団体を指定管理者の候補者として選定することが適当であると判断した。

(5) 意見

地域に根差した事業実施により経験値と実績値は十分であり、アウトリーチや他施設との連携も幅広く行っていることから指定管理者として申し分ないと判断できる。
公平性の観点から、全ての人が文化芸術に触れ、活動し、楽しめるよう意欲的に取

り組んでもらいたい。また、災害発生時の対応や危機管理体制については、利用者の命を守ることを第一に考えた準備と対応を望む。

財政面では、コロナ禍にあっても基金を取り崩しすることもなく公益財団法人として非常に健全な経営状況であることから、若い人材の確保にも取り組み、安定的で持続可能な組織運営を図っていくよう期待する。

6 今後の予定

市議会にて指定の議決を受けた後、以下のスケジュールで業務の開始に向けて準備を進める。

令和 5 年 (2023 年) 10 月中旬	指定管理者を指定する告示 指定管理者指定書の通知
令和 6 年 (2024 年) 4 月 1 日	基本協定・年度協定締結 新たな指定期間における管理運営の開始